

6月定例会概要



6月定例会は、6月8日から6月26日までの19日間の日程で開会し、令和8年度飯山市補正予算案をはじめ、条例案、事件案等16件の議案が市長から提出されました。併せて3月定例会において継続審査となった条例案1件についても審査を行いました。請願については2件の提出がありました。

最終日の本会議においては、各常任委員長から、付託議案および請願の審査結果報告が行われました。

また「飯山市産業振興条例」および「飯山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例」について各常任委員長から継続審査の申し出がされ、継続審査とすることについて賛成多数で可決されました。その他の議案についてはすべて原案のとおり可決・承認されました。

請願については「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充

を求める請願」および「さなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保を求める請願」が、ともに採択となりました。

また総務文教常任委員会から提出された「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充並びにさなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保を求める意見書」および議会運営委員会から提出された「上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書」については、採決の結果全員一致で可決され、関係行政庁あてに意見書を送付しました。

そのほかには10名の議員から「議員の質問権を尊重するよう求める決議」が提出され、賛成多数で可決されました。

各議員の一般質問についての記事は8月号に掲載します。

令和8年6月定例会で審議された議案等

【補正予算案5件】

◆令和8年度飯山市一般会計補正予算・各特別会計補正予算3件・下水道事業会計補正予算1件

【条例案4件】

◆特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆飯山市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例

◆飯山市産業振興条例

◆飯山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

【事件案7件】

◆財産取得について

◆権利の放棄について

◆指定管理者の指定について2件

◆専決処分事項の承認を求めることについて

【令和8年度飯山市一般会計補正予算（第2号）】

【令和8年度飯山市下水道事業会計補正予算（第1号）】

【令和8年度飯山市一般会計補正予算（第3号）】

【継続審査 条例案1件】

◆飯山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例

【請願2件】

◆「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願

◆「さなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」を求める請願

【意見書2件】

◆「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」並びに「さなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」を求める意見書

◆上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書

【決議1件】

◆議員の質問権を尊重するよう求める決議

「議員の質問権を尊重するよう求める決議」を可決

飯山市議会は今定例会において、10名の議員から提出された「議員の質問権を尊重するよう求める決議」を賛成多数で可決しました。

決議の経緯と理由

一般質問は、市民の負託を受けた議員が市政の課題について執行部の見解を問い、市民への説明責任を果たすとともに、議会の監視機能を担う重要な場です。

本定例会の一般質問において、市長から「議会の質問として不

適切であると思います」といった議員の質問そのものを市長が判断する発言がありました。

議会ではこうした市長の発言は「議員に与えられている正当な質問権を侵害する行為」にあたる太重く受け止めました。

また以前から市民より「質問と答弁がかみ合っていない」との指摘が寄せられていたことも踏まえ、適切な議会運営を確保するために本決議に至ったものです。

※決議書は下記をご参照ください。



飯山市議会決議

検索

■決議の内容について

決議書は飯山市議会のホームページに掲載しています。
右の二次元コード、または下記のように検索してください。

賛否が分かれた議案等の表決結果

○=賛成 ●=反対

*「長」は委員長のため委員会での表決権はありません。
*「一」は別委員会のため表決権はありません。

議案番号	議案等名	会派名・議員名	会議の種類	議員																議決結果
				山崎武雄	西澤一彦	高橋達幸	山崎一郎	高澤富士子	吉越利明	岸田眞紀	荻原章一	小林喜美治	松本淳一	高橋春三	村松正勝	常田徳子	佐藤正夫	渋谷芳三	上松永林	
22	飯山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例 (継続審査)	委員会	※継続審査についての賛否																継続審査	
		○	○	—	—	長	○	—	●	—	●	—	—	—	○	—	議長			
		本会議	※委員長報告（継続審査）についての賛否																継続審査	
		○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	議長			
71	飯山市産業振興条例 (継続審査)	委員会	※継続審査についての賛否																継続審査	
		—	—	○	○	—	—	○	—	●	—	●	●	長	—	○	議長			
		本会議	※委員長報告（継続審査）についての賛否																継続審査	
		○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	議長			
決議1	議員の質問権を尊重するよう求める決議	本会議	※原案についての賛否																原案可決	
			○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	議長		

■審議の結果2つの議案が継続審査となりました

今回の定例会において、以下の2議案については、閉会中も引き続き委員会で詳細な審査を行うこと（継続審査）となりました。

① 飯山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例（議案第22号）

現状：再度の継続審査

経過：令和8年3月定例会に引き続き、本会議の採決において賛成多数により継続審査と決定。

詳細：総務文教常任委員会審査で出された意見については30ページに掲載しています。

② 飯山市産業振興条例（議案第71号）

現状：新たに継続審査

経過：本会議の採決において、賛成多数により継続審査が決定。

産業民生常任委員会での主な意見

- ・市内の商工業、農業、伝統産業が直面している課題に対し、具体的な解決策が十分に見えない。
- ・飯山市ならではの「独自性」が不足している。
- ・しっかり審査するためには時間が必要である。

常任委員会議案審査

委員からの主な質問および意見と市からの説明について抜粋して掲載します。

予算決算常任委員会

議案第64号 令和8年度飯山市一般会計補正予算(第4号)

●農業政策課

問 【新規就農総合支援事業】新規就農者は、どの地域で何を作る予定か。

答 主に常盤・太田地区で、ズッキーニやアスパラガス、水稻等を作ると聞いている。

●森林農地整備課

問 【鳥獣対策事業】保育園へのクマの監視カメラ設置については、今回の補正で完了することだが、そのほかの子どもが利用する施設への設置は検討しているか。

答 施設規模が小さい保育園に比べ、小学校等規模が大きな施設のカメラ対応には課題がある。現在の利用状況や実態を見極め、今後の設置について検討していく。

●危機管理防災課

問 【消防防災施設整備事業】区の消火栓放水器具等の購入に対する補助申請が、例年に比べ多い理由は。

答 昨年起こった市内での住宅火災が契機になっていると考える。

での提出となった。

問 飯山市の商工業者が抱えている問題や課題をしっかりと聞いたのか。市の産業振興のためにはどういうものが必要か、関係者の意見を把握するべきではないか。

答 理念条例であるため、飯山市特有の課題については盛り込んでいない。関係者の意見を把握するかどうかにについては今後検討してまいりたい。

議案第75号 指定管理者の指定について(飯山市食の町屋)

問 近隣の飲食店も巻き込んで町を変えていくという方向性は良いが、「食の町屋」がベースであることを忘れないでほしい。

答 飯山市食の町屋条例には、食事の提供や観光案内業も含まれており、賑わい創出という目的を踏まえた経営をお願いしていく。

常任委員会所管事務調査

各委員会の所管する事務について調査および管内視察を実施しました。

■総務文教常任委員会

〈管内視察〉

●飯山市街地の雨水排水施設
雨水排水の経路を確認し、城山雨水排水ポンプ場および城山雨水貯留地を視察しました。

●企画財政課

問 【公共交通運行事業】「いいやま相乗りタクシー」と「乗り合いタクシー」は名称が似ていて混乱する。名称の変更等の検討が必要では。

答 名称については検討していく。

問 相乗りタクシーは登録しやすいシステムが必要と考えるが。

答 簡単に予約できるようなシステムを構築したいと考えている。

議案第79号 専決処分事項の承認を求めることについて【令和8年度飯山市一般会計補正予算(第3号)】

●商工観光課

問 【中小企業資金預託信用保証事業】想定している申請件数は。

答 現在、11件で2億円ほどの申し込みがあり、予算は残り1億円。コロナの際も制度資金を拡大して対応した。今回も同規模の対応を行う。

総務文教常任委員会

議案第69号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

●総務課

問 市長の給与を10割減額する議案に関連し、対象となる事務処理ミスについて、退職した当時の担当者等の責任はどうか。

●旧城南中学校跡地

現地を視察し、現状を確認しました。

■産業民生常任委員会

〈管内視察〉

●フジすまいるファーム飯山

●飯山市放課後等デイサービス施設

●千曲川河道掘削要望箇所(大関橋付近)

〈所管事務調査〉

●もえるごみ指定袋の品薄に対する対応について

店舗の在庫状況や、もえないごみの指定袋を使用できる期間など、多くの市民に伝わるような周知をしていくよう求めました。

■永年在職表彰

全国市議会議長会定期総会・北信越市議会議長会定期総会での永年在職表彰において、議員15年以上在職として渋川芳三議員が表彰を受けました。



上松議長から表彰状の伝達を受ける渋川芳三議員

答 国家賠償法では退職者やその遺族に市が被った損害額の2分の1を請求することができるが、裁判費用が損害額を上回る可能性や事務の労力を勘案し、今回は請求しない判断をした。

議案第72号 飯山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

●危機管理防災課

問 公務災害補償の対象となる「消防作業等」には、クマ出没時の警戒等に従事することも含まれるか。

答 警察などからの要請に対し、消防団長が出動を決定し、命令を発した業務が対象となる。通常の消火活動とは違うが、団長の命令による出動であれば、クマの警戒や行方不明者の捜索なども公務災害補償の対象となる。

議案第22号 飯山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例(継続審査)

【委員会が出された意見】

・本委員会からの指摘について市長から直接説明を受けたが、自身の正当性の主張に終始し、議会との協調姿勢が見えず、信頼関係を築くことができなかった。権限行使のあり方に強い懸念が残る現状では、条例による権限付与は到底認められない。単に否決とするのではなく、もう一

■常任委員会管外行政視察報告

本市施策の参考とするため、先進地の視察を行いました。

◆産業民生常任委員会

5月18日から20日、北海道の二子町・余市町・千歳市で、土地規制・景観保全の現状と持続可能な開発、ワイン産業の振興と6次産業化による活性化、重層的支援体制整備事業についてを視察しました。



北海道余市町役場前にて



福岡県大刀洗町役場議場にて

◆総務文教常任委員会

5月20日から22日、福岡県嘉麻市・大刀洗町・熊本県熊本市で、民間企業と連携した企業版ふるさと納税、自分ごと化会議、重要文化財の防災と復興についてを視察しました。

◆議長から◆

本定例会では2件の条例案が継続審査となりましたが、その他の議案はすべて可決・承認されました。
一部報道等で、議案の取り扱いが「市長と議会の対立」に起因するかのような論調も見受けられますが、議会は二元代表制の一翼として、個別の議案に對しては多岐の姿勢で臨んでいます。今回の「継続審査」という判断も、否決ではなく、次期会期まで慎重に審議を継続するために決定されたものです。

度継続審査とし、市長との信頼関係が築けるかどうかを見たい。
・この条例がなくても職員の採用は可能である。
・条例自体に問題はないため議案を可決すべきである。

・条例というものは誰が提案したか、誰が執行するかではない。条例の内容をきちんと客観的に判断していけばよい。運用の中で問題があれば指摘し、批判をし、是正させていけばよい。

産業民生常任委員会

議案第71号 飯山市産業振興条例

●商工観光課

問 県内ではどのくらいの市町村が条例を作っているか。

答 詳しい数は把握していないが、上田市、諏訪市、上松町、生坂村などを参考に条例案を作成した。

問 参考にした自治体のどのような点を取り入れ、飯山市らしい条例にしたのかという説明がない。短期間で採決を求めるのは無理がある。

答 令和5年度から県内自治体の事例を調査し、令和7年度に農業も含めた産業全体の振興を図る内容に組み立て直した。今年の3月にパブリックコメントの手続きも経て、今定例会